

若い人の悩みを
きく人研修会



若い人には悩みがある。
若い人はとかく、相談できる
人を見つけないのではいか。
相談を受ける立場の人のための
わかりやすい研修でした。

広げよう夢、育てよう福祉の心

第52回飯山市社会福祉大会

誰もが会員 みんなの社協

誰もが幸せに暮らしていけるような地域を作るため、社会福祉関係者をはじめ市民が一堂に会し、支えあい助け合う人と人との絆



表彰者の紹介

社会福祉事業功労者

深堀 忠夫 様
児童館等において、児童に囲碁の指導を続けておられる
社会福祉事業協働者

森 きよい 様

善意銀行に多額の寄付をされた

鈴木一様 高橋貫一様 津端
喜代子様 高山安三様 月岡
露子様 前沢郁子様 市村誠
一様 石澤滋子様 上野松雄
様 小林八重子様 池川恵美
子様 石澤栄子様 小山光代

「ほのぼの弁当」に配達とうどとして長年協力されている。
優良福祉団体
静山流静月会 様
福祉施設等において長年ボランティア活動を続けておられる。
蓮上組老人クラブ 様
蓮駅周辺の環境美化活動を長年続けておられる。
自立更生者

大沼 菊子 様

強い精神力で障害を克服し、自立更生された。

介護者

日台竹三様 岡田照子様
水鉋美代子様 今井美枝子様
佐藤一明様 佐々木衣子様
竹ノ内千代子様 阿部ふさ子様
岸田清子様 前澤つじ様
柳幸司朗様 水野しげ子様
清水ひふみ様
長年にわたり、介護の必要な家族を自宅で介護されている。

被表彰者を代表して深堀忠夫様からこれからの決意を含めご挨拶をいただきました。引き続き来賓を代表

「愛のしるし」 手ぬぐいの披露

して、宮本県議、石田飯山市長からご挨拶をいただきました。

記念講演

「あなたとわたしの共同参画講座」と共催で、「防災・災害復興と女性」新潟県中越地震とわたしの三年」と題して、(財)新潟県女性財団理事長 大島煦美子さんから講演いただきました。内容は20ページ参照。

大会宣言

赤十字奉仕団委員長 佐藤すみ子さんに大会宣言案を提案いただき全員一致で採択されました。

地域の福祉、みんなで参加 第60回 赤い羽根共同募金運動



業、福祉教育懇談会、スマイルとうど、ほのぼの弁当など事業を推進しています。ボランティアの活動に忙しくて参加できない人も、共同募金を通じて参加できます。



職域募金

お勤め先などで募金をお願いします。

その他に、街頭募金、一般募金、学校募金など、実施いたします。

共同募金は 変わります

地域をつくる市民を 応援する共同募金へ

共同募金創設60周年をむかえ、共同募金のあり方を検討する企画・推進委員会ができました。そして、市民の期待にこたえて市民が集めて市民が使う、寄付と助成が循環していくしくみを提案し、共同募金が地域づくりを行う市民を応援する資金へ変わる方向を示しています。

共同募金に 支えられています

今年度の福祉活動は昨年度の共同募金の配分金で実施されています。今年度の募金は来年度の事業に生かされます。

県の事業の配分では、今回の車イス移送車両の補助や、飯山学園など福祉施設にも配分されます。

飯山市へは市社協を通じて配分されます。地区社協の事業(敬老会や戦没者慰霊事業、青少年育成など)や、市社協事業の社会福祉大会やふれあい祭り、社協だより等広報事業、歳末激励事



個人大口・法人募金

区長さん民生委員さんのご協力で、戸別に訪問いたします。

戸別募金

一戸当たり500円をめぐりに、寄付額はみなさまのご判断でご協力をお願いします。

今年で60回を迎えるこの運動は、区長、民生委員はじめ大勢の皆様のご協力により、市内の大勢の皆様から毎年多大なご寄付をいただいております。感謝申し上げます。

共同募金は、県の事業と飯山市への配分があり、県のみならず飯山市の福祉諸活動には欠かせないものがあります。

大変厳しい経済環境の中で誠に恐縮なお願いですが、どうか安心して住める福祉のまちづくり推進にご理解賜り、共同募金に格別なご協力をお願い申し上げます。

飯山市の赤い羽根共同募金目標額

本年度募金目標額 8,320,000円
内訳 県割当額 1,173,000円
市目標額 7,147,000円

区分	方法	募金予定額
戸別募金	1世帯500円	3,200,000円
職域募金	協力職域へ依頼	180,000円
法人募金	地区ごと実施	1,650,000円
個人大口募金	地区ごと実施	2,800,000円
その他の募金	学校・一般・街頭募金	490,000円
計		8,320,000円